

Hitachi Koki

日立ランダムサンダ

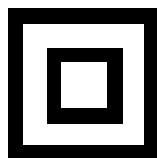
SV 13YB

取扱説明書

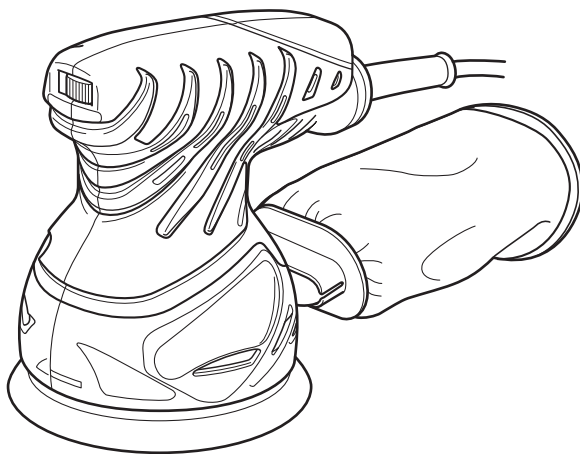
このたびは日立ランダムサンダをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



HITACHI

目 次

ページ

電動工具の安全上のご注意	2
ランダムサンダの使用上のご注意	5
各部の名称	6
仕 様	6
標準付属品	7
別売部品	7
用 途	8
作業前の準備	8
ご使用前に	9
研磨の仕方	10
サンドペーパーの種類と用途	12
別売部品の取付け方	12
保守・点検	13
ご修理のときは	14
全国営業拠点	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」、「⚠ 注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

 **警 告**

- ⑨ 保護メガネを使用してください。**
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。**
- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。**
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。**
- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。**
- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
- 使用しない、または修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
- 屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。



警 告

①9 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

②0 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所にも異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

②1 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

②2 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。
ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具で、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違っ組立てると、二重絶縁構造ではなくなり、危険です。

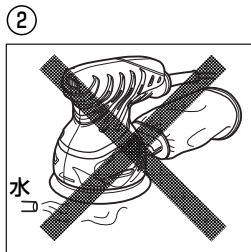
電気システムの分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。

ランダムサンダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ランダムサンダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

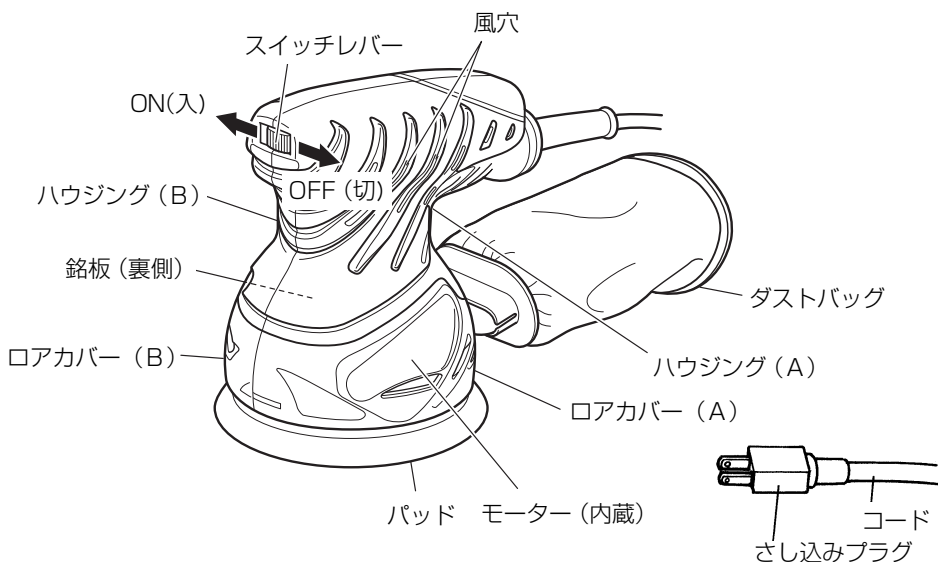
- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 水、研削液などは使用しないでください。
乾式用のため、感電の恐れがあります。
- ③ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑤ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑥ パッドに割れ、傷などの異常がないことを確認してから使用してください。
そのまま使用するとけがの原因になります。



注意

- ① サンドペーパーや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ③ 無理に強く押しつけないでください。
サンドペーパーの破損や機体の損傷を招くだけでなく、けがの原因になります。
- ④ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。
- ⑤ スwitchを切った後、パッドはすぐに回転を停止しませんので注意してください。

各部の名称



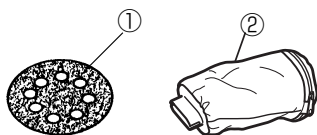
仕 様

使用電源	単相交流 50 / 60 Hz 共用	電圧 100 V
全負荷電流	2.4 A	
消費電力	230 W	
無負荷円軌道回転数	12000 min ⁻¹ {回/分}	
モーター	単相直巻整流子モーター	
旋回径	3.2 mm	
パッドサイズ	外径 125 mm	
ペーパーサイズ	外径 125 mm	
質 量	1.4 kg (コードを除く)	
コ ー ド	2心キャブタイヤコード 2.5 m	
振動 3 軸合成値 ^{※1}	7.0 m/s ² ^{※2}	

※1：振動3軸合成値(周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値)については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会] ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。

※2：振動3軸合成値は、EN60745-2-4規格に基づき測定しています。

標準付属品



- ① サンドペーパー
粒度 60 2枚
粒度 120 2枚
粒度 240 2枚
- ② ダストバッグ 1個

別売部品

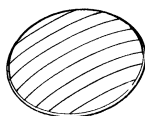
..... (別売部品は生産を打ち切る場合があります)
..... (ありますので、ご了承ください。)

1. サンドペーパー (マジック式、外径 125 mm)

粒度	コードNo.	粒度	コードNo.
40	308516	180	308520
60	308517	240	308521
80	308518	320	308522
120	308519	400	308523

同一粒度のサンドペーパーが5枚1組
になっております。

2. ポリエステルバフ (コードNo. 308515)



金属塗装面のコンパウンド磨きや、ワックスのつや出し用としてご使用ください。

3. 電動工具用集じん機

この製品は、電動工具用集じん機に接続して使用することができますので、
お買い求めの販売店にご相談ください。

用 途

- 木工品や金属品の荒削りや表面仕上げ
- 塗装のはがしや下地仕上げ
- さび落とし

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認

この機体は二重絶縁構造で、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 継ぎ(延長)コード

警 告

- 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。

電源がはなれているときは、電流を流すのに十分な太さの継ぎ(延長)コードをできるだけ短くして使用します。

次の表は、コードの太さ(導体公称断面積)によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 mm ²	20 m
1.25 mm ²	30 m
2 mm ²	50 m

これを超える長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

3. 作業環境の整備・確認

作業する場所が2ページの「電動工具の安全上のご注意」①、②、④項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと不意に起動し思わぬ事故の原因になります。スイッチはスイッチレバー（6 ページの 図参照）をON(入)側に倒すと入り、OFF(切)側に倒すと切れます。

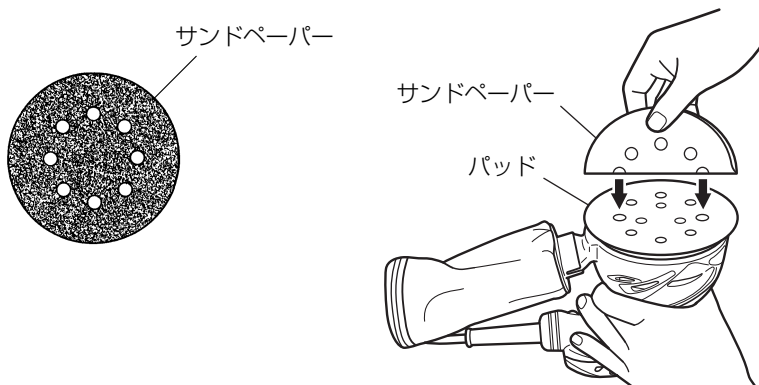
スイッチレバーがOFF側に倒れていることを必ず確認してください。

3. サンドペーパーを取付ける

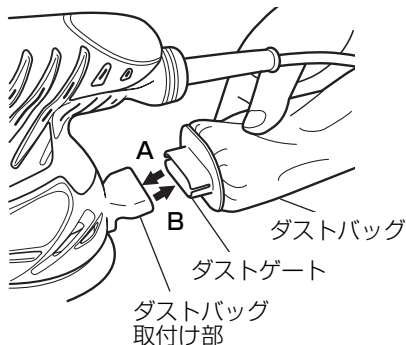
サンドペーパーはマジック式の外径125 mmを使用してください。

それ以外のものを使用するとはずれたり、けがの原因となります。

サンドペーパーを取付けるときは、パッドの穴と合わせるために、サンドペーパーを下図のように2つの穴を中心に軽く折り曲げるようにします。つぎにこの折り曲げた位置の穴を基準としてサンドペーパーとパッドを合わせ、全体を押しつけてください。



4. ダストバッグの取付け・取りはずし



(1) 取付け方

左図に示すようにダストゲートを持ち、機体のダストバッグ取付け部にA方向へ押し込んで取付けます。

(2) 取りはずし方

左図に示すようにダストゲートを持ち、B方向へ引き抜きます。

5. 電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

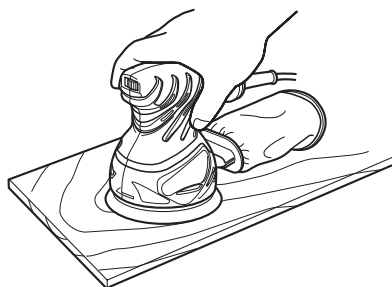
お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになると、過熱して事故の原因になります。

研磨の仕方

⚠ 警 告

- 研磨する場合、水や研削液などは絶対に使用しないでください。感電の原因になります。

1. ランダムサンダの持ち方

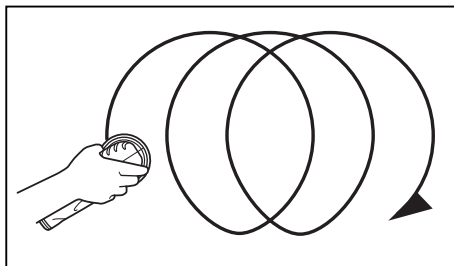
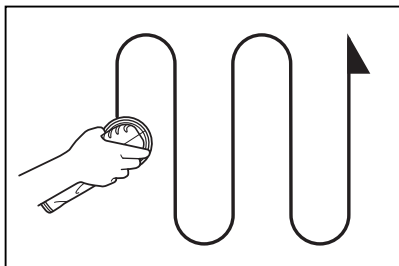


ハウジング上部を握り、サンドペーパーが加工面に一様に当たるよう機体を加工面に軽く押しつけます。必要以上に強く押しつけると、モーターに無理がかかり、サンドペーパーの寿命を短くするだけで、研磨能率を悪くします。

機体の自重で十分に研磨できますので、軽く機体に手を添える程度で十分です。

2. ランダムサンダの動かし方

本機を上下左右に、または円を描くように作業してください。



3. サンドペーパーの粒度が荒目で新しい場合は

サンドペーパーの粒度が荒目で新しい場合は、使用の初めに機体がバタつくことがあります。仕事始めの少しの間、機体を前または後に多少傾けて保持するようにしてください。サンドペーパーがなじむにつれてバタつかなくなります。

4. 加工面が一様に研磨されるまでは

加工面が一様に研磨されるまでは同一粒度のサンドペーパーを使用してください。

仕事途中で粒度の違うサンドペーパーに取換えると、きれいに仕上がらないことがあります。

5. スイッチを入れるとき

機体を加工面からはなしてスイッチを入れます。サンドペーパーを加工面に接触したまま起動すると加工面に大きな傷を付ける恐れがあります。

スイッチを切り、停止する場合も同様です。

6. 使用直後の注意

作業が終了したら必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

使用直後、回転が止まらないうちに切粉やごみの多い場所に置くと切粉やごみを吸い込むことがあるのでご注意ください。

サンドペーパーの種類と用途

1. サンドペーパーの種類と用途について

一般的にサンダに使用するサンドペーパーは、酸化アルミニウム、ガーネット、珪素カーバイトの3種類が主なものです。

機体に付属しているサンドペーパーは、酸化アルミニウムですから他のものに比べ、強大な靱性があり、硬質木材や各種鋼材の研磨に好適です。

ガーネットは木材用、珪素カーバイトは鋳鉄、アルミ用などとして使用されます。

2. サンドペーパーの粒度について

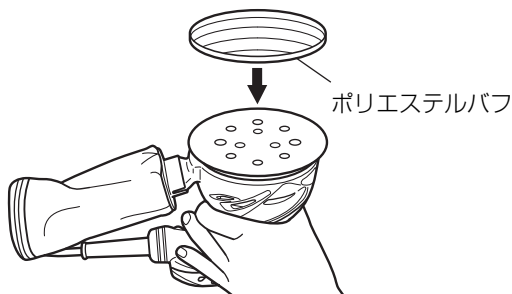
この機体に使用するサンドペーパーは、手作業のときに比べて荒目のものをお選びください。また普通の金剛砂のサンドペーパーや布ペーパーを使用することは、軟質ですので早く摩耗して不経済です。

別売部品の取付け方

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

ポリエステルバフの取付け方



- サンドペーパーと同様に取付けはマジック式ですので、パッドに押しつけるだけで取付けできます。

保守・点検



警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1. ダストバッグの粉じんの捨て方と掃除

ダストバッグに粉じんがたまりすぎると集じん力が弱まります。粉じんは早めに捨ててください。取りはずしは10ページの「4. ダストバッグの取付け・取りはずし」の(2)項の要領でダストバッグを取りはずし、ファスナーを開けて、粉じんを捨ててください。

2. サンドペーパーの点検

摩耗したサンドペーパーを使用していると能率が落ちますから早めに新品と交換してください。

3. 各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締直してください。

4. モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

- 注** ● ごみやほこりを排出するため、使用後は、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

5. 表面のよごれ清掃

機体の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面を傷めます。

清掃の場合は、かわいた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6. 機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれまして、修理を依頼される時便利です。

お買い上げ日 年 月 日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) TEL (03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒004-0053	札幌市厚別区厚別中央3条一丁目2番20号 TEL (011) 896-1740(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 TEL (022) 288-8676(代)
関東支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) TEL (03) 5783-0608(代)
中部支店	〒451-0051	名古屋市西区則武新町一丁目32番16号 TEL (052) 533-0231(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 TEL (076) 263-4311(代)
関西支店	〒663-8243	西宮市津門大箇町10番20号 TEL (0798) 37-2665(代)
中国支店	〒730-0826	広島市中区南吉島二丁目3番7号 TEL (082) 504-8282(代)
四国支店	〒760-0078	高松市今里町一丁目28番14号 TEL (087) 863-6761(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 TEL (092) 621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター 0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

